

シニア友の会 20周年

次世代に運動繋げる

金平茂紀さんが記念講演

8月23日、日本教育会館一ツ橋ホールで東京土建シニア友の会「結成20周年を記念するつどい」が開催され、33支部から217人が参加しました。

鷗澤文昭会長があいさつ。

亡くなられた仲間への黙とうを呼びかけてから、「シニア友の会はいつでも元気で楽しく交流することを軸に活動を続けてきた。とりわけ後期高齢者医療制度により75歳で土建国保からの離脱を余儀なくされることでの組合脱退を防ぐ、大切な役割を果たしてきた。今後も次世代に運動の確実なバトンタッチをしていく」と話しました。

ジャーナリストで「TBS



講演を聞き、拍手する参加者



取材先でに手に入れた「フーセントイレットペーパー」を披露する金平さん

建設国保への都費補助を 都議へ賛同求める



尾崎大介都議（右）から署名を受け取る調布支部の伊野里美社保対部長（中）と永井駿介主任書記

東京土建では毎年、都議会議員の皆さんに、「建設国民健康保険組合への東京都補助金に関する賛同署名」をお願いしています。左記はいただいた皆さん（8月19日現在）です。すべての議員からの賛同をめざし、引き続き署名の要請をすすめます。

【葛飾区】和泉なおみ氏、

- 米川二郎（都）
- 【台東区】鈴木純（自）
- 【墨田区】成清梨沙子（都）、川松真一朗（自）、加藤雅之（公）
- 【江戸川区】原純子（共）
- 【板橋区】松田康将（自）
- 【北区】やまだ加奈子（自）
- 【品川区】森澤恭子（無）、白石たまお（共）
- 【北多摩第3】尾崎大介（都）、林あきひろ（自）
- 【北多摩第1】谷村孝彦（公）、尾崎あや子（共）、関野たかなり（都）

カード普及やめろ 新宿駅西口で街頭宣伝

マイナンバー

金への参加などを求めて、もう一押し運動を進めよう」となどと訴えました。

メンバー13人（東京土建は11人）が、マイナンバー制度の活用拡大に反対して署名宣伝行動を実施しました。

行動参加者がマイナンバー制

複数の班に分かれ、「建設アセスメント被害給付金法を改正し、『建材企業が参加する補償基金制度の創設』を求める請願書に賛同し、紹介議員に署名を求めて、参議院院内集会を訪ねました。

国葬、統一教会審議を

国会前行動に1200人

8月19日、「戦争させない・9条壊すな」の国会議員会館前の月例行動が行なわれ、1200人の市民（東京土建は50人）が結集しました。参院選の結果、改憲勢力が増進し



東京高裁前でシュプレヒコールする原告ら

代表して川口敏彦統一本部幹事は「1陣提訴から14年が経った。被告建材企業は『往生際が悪い』ような対応を続けている。企業に真摯な謝罪、基



国葬に対する反対世論は高まっている

立憲野党からは阿部知子（立民）、山添拓（共産）、福島瑞穂（社民）がスピーチ（伊波洋一〈沖繩〉はメッセージを代読）があり、市民からはチェンジ国政・板橋の会の代表などが発言しました。集会の最後に、高田健さんから「国葬反対」の8月31日、9月27日の緊急行動などが提起されました。



白波五人男を演じる前進座の皆さん

元首相銃撃報道特集」でキャスターをしている金平茂紀さんが「分岐点としての2022年」と題して記念講演。69歳の金平さんは参加者に「皆さん。同世代ですよ」と笑顔で語りかけながら、日中国交回復や沖縄返還のあった50年前の1972年の写真を見せて歴史を振り返りました。そして安倍

池内政一事務局長が基調報告。早ければ今年10月には、75歳以上の医療費窓口2割負担が導入される。高齢者の命と暮らしを守る課題が大きいと、対話を広げて運動を進めよう、と訴えました。練馬、多摩西部の支部活動報告の後、前進座の皆さんの余興を楽し

参加した大塚重吉さん（板橋）は「コロナ禍でも、つどいをやってくれてありがたかった。ウクライナでの戦争は一日も早く終わってほしい。金平さんの本は受付で買ってサインももらった。前進座の余興も楽しく観賞できた。なにと企画を満喫した感想を語ってくれました。